



(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

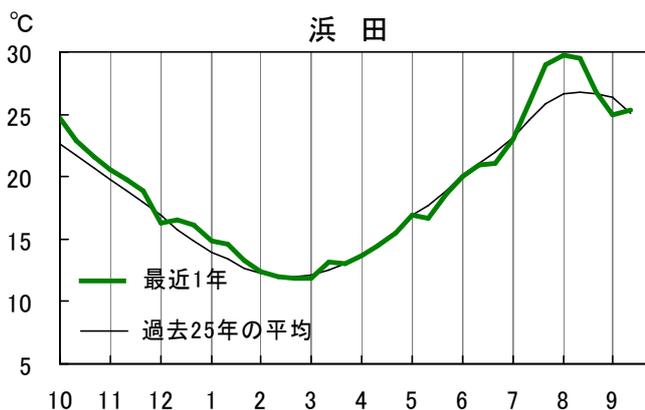
<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《8-9月の海況》

8月	月平均	平年差	評価
浜田	28.6℃	+1.9℃	はなはだ高め
恵曇	28.2℃	+2.2℃	はなはだ高め

沿岸定地水温は、浜田、恵曇とも7月中旬から8月中旬まで平年よりやや高め～はなはだ高めで推移しましたが、8月下旬より降温が顕著になり、9月は中旬現在では、浜田は平年よりやや低め、恵曇は平年よりかなり低めとなっています。



《 8月の漁況 》

【中型まき網漁業】

浜田地区はマアジ、サバ類主体の漁獲で、1統1航海当たりの漁獲量は多かったものの、8月後半の時化の影響で出漁日数が平年の半分以下となり、漁獲金額は平年の45%に留まりました。西郷地区および浦郷地区は、マアジ、ブリ主体の漁獲で、特にブリの漁獲量が平年の2~3倍と好調でした。そのため漁獲金額は、西郷地区では平年の1.8倍でしたが、浦郷地区では操業日数が平年の7割程度となったため、平年並みに留まりました。

【イカ釣漁業】

浜田港(属地5トン以上)ではケンサキイカ主体の漁獲で、1隻1航海日当たりの漁獲量は平年の1.5倍となりましたが、入港隻数が少なかったため漁獲量は前年の8割、平年の7割に留まりました。西郷港(属人5トン以上)ではケンサキイカ主体の漁獲で、漁獲量は前年の1.4倍、平年の45%でした。

【沖合底びき網漁業】

浜田港ではムシガレイ主体の漁獲でした。休漁明け以降、大型クラゲの影響もなく、1統1航海当たり漁獲量は、平年(過去10年平均)を22%上回り、好調に推移しました。特にソウハチが平年の3.2倍と、8月としては2年続けてまとまった漁獲がありました。一方、ケンサキイカは低調に推移し、平年の1/2程度に留まりました。

【バイかご漁業】

8月の石見・出雲地区のバイかご漁業におけるエッチュウバイの漁獲量はほぼ平年並でした。ただし、エッチュウバイの単価が安い金額では平年の8割にとどまっています。また、6~8月の漁期を通じてのエッチュウバイの漁獲量は91トンで平年の1.1倍でしたが、金額では平年の9割にとどまりました。

【シイラまき網漁業】

漁獲の主体となったシイラの漁獲量は平年の1.1倍で、平均単価も安定していたため、漁獲金額は平年の1.1倍と平年並みでした。

【定置網漁業】

石見地区では主要漁獲物のマアジが平年の1割と極端に不漁で、ブリが平年の2倍の漁獲量だったものの、全体では平年の4割の漁獲量となりました。出雲地区では主要漁獲物のブリが平年の1.2倍、カタクチイワシが平年の1.5倍だったものの、マアジは平年の約3割、サワラが平年の4割、ウルメイワシが平年の2割と不調で、全体ではほぼ平年の7割の漁獲量となりました。隠岐地区では主要漁獲物のブリが平年の4割・マアジが平年の3割と不調で、全体の漁獲量は平年の5割にとどまりました。

【釣・縄】

全地区とも出漁日数が少なかったため(平年の4~5割減)、漁獲量は平年を下回りました。石見地区ではケンサキイカ、アマダイなどが漁獲され、漁獲量は平年の4割でした。出雲地区ではケンサキイカ、アマダイ、マダイなどが漁獲され、漁獲量は平年の4割でした。隠岐地区ではケンサキイカ、キダイ、カサゴ・メバル類などが漁獲され、漁獲量は平年の6割でした。

【平成20年8月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
まき網 (中型・大 中型)	浜田	マアジ、サバ類	154トン	96%	75%	10.3トン	230%	186%	◎
	西郷	マアジ、ブリ	2,591トン	108%	150%	33.7トン	116%	156%	◎
	浦郷	マアジ、ブリ	1,218トン	58%	79%	25.4トン	81%	101%	○
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	73トン	84%	67%	287 kg	159%	151%	◎
	西郷	ケンサキイカ	15トン	142%	45%	106 kg	139%	76%	○
沖合 底びき網	浜田	ムシガレイ	182トン	109%	108%	11.3トン	102%	122%	◎
バイかご	久手	エッチュウバイ	11トン	69%	91%	514 kg	83%	105%	○
シイラまき	和江	シイラ	104トン	92%	112%	2.0トン	119%	132%	◎
定置網 (大型)	浜田	ブリ、カジキ類、カンパチ、マアジ	23トン	141%	55%	554 kg	119%	71%	○
	美保関	ブリ、カタクチイワシ、サワラ、マアジ	72トン	90%	108%	780 kg	99%	117%	○
	浦郷	ブリ、クロマグロ、カジキ類	9トン	33%	30%	468 kg	35%	24%	▲
釣り・縄	仁摩	ケンサキイカ、メダイ	7トン	73%	38%	23 kg	117%	67%	▲
	大社	ケンサキイカ、キダイ、カサゴ・メバル類、キジハタ	2トン	26%	26%	10 kg	65%	67%	▲
	西郷	ケンサキイカ、カサゴ・メバル類、キダイ	8トン	61%	48%	28 kg	108%	99%	○

平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下



大型クラゲ情報

今年はエチゼンクラゲがかなり少ないようです。他県も含め底びき・定置網などへのクラゲの入網報告は9月中旬現在全くありません。